

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 リズム時計工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7769 URL <http://www.rhythm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大川 康寛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 笠間 達雄

TEL 048-643-7213

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	21,890	△5.1	1,217	182.6	1,422	160.8	880	—
21年3月期第3四半期	23,071	—	430	—	545	—	△1,553	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	6.66	—
21年3月期第3四半期	△11.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	37,361	30,766	82.4	238.35
21年3月期	35,919	30,384	84.6	228.29

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 30,766百万円 21年3月期 30,384百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				1.50	1.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,900	△5.1	900	692.8	1,000	204.7	650	—	4.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 142,178,939株 | 21年3月期 | 142,178,939株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 13,097,952株 | 21年3月期 | 9,083,375株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 132,288,048株 | 21年3月期第3四半期 | 133,264,053株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基き判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化により、上記予想と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、アジア向け輸出の増加などを背景に一部に持ち直しの動きが見られるものの、依然、雇用情勢の厳しさや個人消費の低迷などから先行き不透明な状況にあります。海外におきましては、アジアでは、特に中国において内需を中心とした景気回復が見られますが、欧米においては深刻な経済情勢が続いております。

このような状況の中、当社グループは継続して収益基盤の強化に取り組んでおり、クロック事業におきましては、国内販売では消費環境の厳しさから減収となりましたが、収益改善策の効果などにより営業利益は増益となりました。海外販売では全体として厳しい環境が続いておりますが、米国市場での販売回復により、売上高、営業利益とも前年同期を上回りました。また、電子事業におきましては、情報機器分野の売上回復や合理化策の推進などにより、売上高、営業利益とも前年同期を上回りました。

以上のことから、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は218億90百万円となり、前年同期230億71百万円に対し5.1%の減収となりました。営業利益につきましては、クロック事業、電子事業及びその他の事業の全事業で前年同期を上回った結果、12億17百万円となり、前年同期4億30百万円に対し182.6%の増益となりました。経常利益につきましては、受取利息及び受取配当金が減少した一方で、外貨建債権の評価損等による為替差損の計上額が減少したことなどにより14億22百万円となり、前年同期5億45百万円に対し160.8%の増益となりました。四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損の計上額が減少したことなどにより8億80百万円となりました（前年同期は、特別損失に音楽著作権損害賠償損失9億83百万円を計上したことなどにより15億53百万円の損失）。

各事業のセグメント別業績の概況は、次のとおりであります。

(1) クロック事業

国内販売におきましては、個人消費の低迷や企業需要の減退が続く中、売上高は前年同期を下回りましたが、新商品につきましては、お客様の評価も高く比較的堅調に推移いたしました。海外販売では、厳しい市場環境が続いておりますが、米国での販売が回復したことにより増収となりました。また、自動車時計販売につきましては、自動車販売台数減少の影響を受け減収となりました。一方、利益の面では継続して実施しております収益改善策が原価率改善や販売費の低減に結びつき、さらに円高効果もあり、低迷した市場環境の中でも営業利益は大幅な増益となりました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間のクロック事業の売上高は82億54百万円となり、前年同期93億17百万円に対し11.4%の減収となりました。営業利益は9億33百万円となり、前年同期4億69百万円に対し、98.9%の増益となりました。

(2) 電子部品（機器類含む）及び産業用機械類事業

電子事業におきましては、顧客企業に対し積極的に新商品の企画提案を実施し、業績の拡大に努めております。そのような中、デジタル製品向け精密部品需要の低迷が続く金型・部品分野では減収となりましたが、積極的な新機種提案が販売に結びついた情報機器分野では増収となり、電子事業全体の売上高は前年同期を上回りました。利益の面では情報機器分野の増収効果や継続的な合理化策の実施などにより営業利益は増益となりました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の電子事業の売上高は116億44百万円となり、前年同期115億36百万円に対し0.9%の増収となりました。営業利益は10億48百万円となり、前年同期8億27百万円に対し26.8%の増益となりました。

(3) その他の事業

宝飾品、ウォッチなどの商品販売及び介護事業を中心としたその他の事業につきましては、お客様のニーズに合った商品、サービスの提供に努めております。そのような中、介護事業関係は比較的堅調な売上高で推移いたしました。宝飾品及びウォッチ販売は減収となりました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は19億91百万円となり、前年同期22億16百万円に対し10.2%の減収となりました。営業利益は91百万円となり、前年同期86百万円に対し5.8%の増収となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は373億61百万円となり、前連結会計年度末359億19百万円に比べて14億41百万円増加しました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ21億67百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金の増加11億36百万円が主な要因です。固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億26百万円減少しましたが、有形固定資産が3億82百万円減少し、投資その他の資産が3億2百万円減少しました。

(負債)

負債合計は65億94百万円となり、前連結会計年度末55億35百万円に比べ10億58百万円増加しました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ9億27百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金の増加12億59百万円が主な要因です。固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は307億66百万円となりました。前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が8億80百万円増加し、自己株式が5億37百万円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年11月4日公表の業績予想から変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,716	3,646
受取手形及び売掛金	7,784	6,647
有価証券	5,099	5,200
たな卸資産	6,013	5,695
その他	2,178	1,436
貸倒引当金	△27	△26
流動資産合計	24,765	22,597
固定資産		
有形固定資産	4,807	5,190
無形固定資産	462	503
投資その他の資産		
投資有価証券	5,480	5,549
その他	1,962	2,192
貸倒引当金	△116	△113
投資その他の資産合計	7,325	7,628
固定資産合計	12,595	13,321
資産合計	37,361	35,919
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,862	2,602
未払法人税等	324	92
賞与引当金	78	164
音楽著作権損害賠償損失引当金	—	126
その他	1,213	1,564
流動負債合計	5,479	4,551
固定負債		
退職給付引当金	26	22
役員退職慰労引当金	4	8
音楽著作権損害賠償損失引当金	101	—
その他	981	952
固定負債合計	1,114	984
負債合計	6,594	5,535

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	17,834	17,834
利益剰余金	2,432	1,552
自己株式	△2,053	△1,515
株主資本合計	30,586	30,243
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	403	285
為替換算調整勘定	△222	△144
評価・換算差額等合計	180	140
純資産合計	30,766	30,384
負債純資産合計	37,361	35,919

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	23,071	21,890
売上原価	17,863	16,263
売上総利益	5,207	5,626
販売費及び一般管理費	4,777	4,408
営業利益	430	1,217
営業外収益		
受取利息	65	45
受取配当金	179	80
受取賃貸料	158	154
信託収入	148	148
その他	45	96
営業外収益合計	598	525
営業外費用		
支払利息	4	6
賃貸費用	63	64
出向費用	76	65
信託費用	56	56
為替差損	213	50
その他	68	77
営業外費用合計	483	320
経常利益	545	1,422
特別利益		
固定資産売却益	164	61
その他	9	1
特別利益合計	173	63
特別損失		
固定資産処分損	16	20
投資有価証券評価損	965	238
音楽著作権損害賠償損失	983	—
その他	4	15
特別損失合計	1,969	274
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,251	1,210
法人税、住民税及び事業税	158	354
法人税等調整額	143	△24
法人税等合計	301	330
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,553	880

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,251	1,210
減価償却費	805	601
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△61	3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	51	90
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47	△85
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	—
受取利息及び受取配当金	△244	△125
支払利息	4	6
為替差損益(△は益)	130	72
固定資産処分損益(△は益)	16	20
固定資産売却損益(△は益)	△164	△61
投資有価証券評価損益(△は益)	965	238
音楽著作権損害賠償損失	983	—
売上債権の増減額(△は増加)	689	△1,195
たな卸資産の増減額(△は増加)	28	△379
仕入債務の増減額(△は減少)	△336	1,327
その他	△523	△683
小計	1,041	1,035
利息及び配当金の受取額	229	108
音楽著作権損害賠償等の支払額	△430	△235
利息の支払額	△4	△6
法人税等の支払額	△440	△60
営業活動によるキャッシュ・フロー	395	841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△91	△46
定期預金の払戻による収入	45	—
有価証券の取得による支出	—	△300
有形固定資産の取得による支出	△582	△244
有形固定資産の売却による収入	507	42
無形固定資産の取得による支出	△193	△59
無形固定資産の売却による収入	105	—
投資有価証券の売却等による収入	525	7
その他	△1	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	316	△606

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	—
自己株式の取得による支出	△34	△537
自己株式の売却による収入	5	0
配当金の支払額	△263	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△292	△538
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85	△66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	333	△369
現金及び現金同等物の期首残高	7,042	8,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,375	8,377

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	クロック事業 (百万円)	電子部品 (機器類含む) 及び産業用 機械類事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,317	11,536	2,216	23,071	—	23,071
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	23	8	1,020	1,052	(1,052)	—
計	9,341	11,545	3,237	24,124	(1,052)	23,071
営業利益	469	827	86	1,383	(952)	430

(注) 1 事業区分の方法

当連結グループの事業区分の方法は、製品・商品の機能及び種類により区分しております。

2 各事業区分の主要な商品

事業区分	主要商品
クロック事業	置時計、掛時計、デジタル時計、目覚時計、自動車用時計、設備時計、タイマー、クロックムーブメント及び部分品
電子部品(機器類含む) 及び産業用機械類事業	IC組立、自動車関連機器、映像関連機器、アミューズメント関連機器、金型、産業用機械及び部分品
その他の事業	ウォッチ、宝飾品、物流サービス、訪問介護サービス

3 会計方針の変更等

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4.(2)に記載のとおり、当第1四半期連結累計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用しております。この結果、従来によった場合に比べて、営業利益がクロック事業で120百万円、電子部品(機器類含む)及び産業用機械類事業で45百万円、その他の事業で6百万円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	クロック事業 (百万円)	電子部品 (機器類含む) 及び産業用 機械類事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,254	11,644	1,991	21,890	—	21,890
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	0	837	855	(855)	—
計	8,272	11,644	2,828	22,745	(855)	21,890
営業利益	933	1,048	91	2,074	(857)	1,217

(注) 1 事業区分の方法

当連結グループの事業区分の方法は、製品・商品の機能及び種類により区分しております。

2 各事業区分の主要な商品

事業区分	主要商品
クロック事業	置時計、掛時計、デジタル時計、目覚時計、自動車用時計、設備時計、タイマー、クロックムーブメント及び部分品
電子部品(機器類含む) 及び産業用機械類事業	IC組立、自動車関連機器、映像関連機器、アミューズメント関連機器、金型、産業用機械及び部分品
その他の事業	ウォッチ、宝飾品、物流サービス、訪問介護サービス

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,223	1,591	256	23,071	—	23,071
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	843	4,432	—	5,276	(5,276)	—
計	22,067	6,023	256	28,347	(5,276)	23,071
営業利益又は営業損失(△)	384	121	△97	408	22	430

(注) 1 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・・・・香港

(2) その他・・・・・・アメリカ

3 会計方針の変更等

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4.(2)に記載のとおり、当第1四半期連結累計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を適用しております。この結果、従来によった場合に比べて、営業利益が日本で172百万円減少しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	19,643	1,782	464	21,890	—	21,890
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	630	3,973	—	4,603	(4,603)	—
計	20,273	5,756	464	26,494	(4,603)	21,890
営業利益	1,045	207	4	1,257	(40)	1,217

(注) 1 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア・・・・・・・・香港
- (2) その他・・・・・・・・アメリカ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	464	1,905	2,370
II 連結売上高(百万円)	—	—	21,890
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	2.1	8.7	10.8

(注) 1 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 北 米・・・・・・・・アメリカ
- (2) その他・・・・・・・・香港、東南アジア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。